

第 2 1 回議会報告会議事録（要約）

とき	令和 4 年 5 月 7 日（土） 19 時～21 時
ところ	加東市地域交流センター
テーマ	議会報告・地域の課題について
参加者数	11 人（男 5 人 女 6 人）
出席議員 15 名	<ul style="list-style-type: none"> ・北原 豊 ・古跡 和夫 ・石井 雅彦 ・桑村 繁則 ・別府 みどり ・大畑 一千代 ・岸本 眞知子 ・山本 通廣 ・鷹尾 直人 ・高瀬 俊介 ・小川 忠市 ・井上 茂和 ・廣畑 貞一 ・長谷川 幹雄 ・小紫 泰良
総記録者	山本 通廣



【概 況】

身近な事案から、公共交通、人口減少に係る都市計画などに意見が出て、活発な交換会に終始した。

ただ、回答者の回答を納得していただけたらどうかと思料するところである。

発言種別・番号	回 答（意見も含む）
質問①	買い物支援について、「加東市ちょっとした困りごとお助け帳」はどのくらい活用しているのか。内容について提供できるサービスの調査をして作成したのか疑問である。
回答①	常任委員会での今後の調査となる。参考にさせていただく。
質問②	移動販売の必要性について、目標売上金額は達成しているのか。
回答②	データでは 10 万円の目標に達しているとなっている。

意見③	消防の報酬については、昔と比較して羨ましい。昔は火事が発生した場合に仕事を放って、火事現場に駆け付けていた。若い人にもこれまでの現状を伝えてほしい。
回答③	意見として伺っておく。
質問④	東条文化会館について修繕費は市で持つのか。指定管理制度ではないのか。
回答④	50万円以下の修繕は指定管理者で行うが、大規模なものについては市が行う。
意見⑤	外国人の出産が増えている。子どもたちに多文化共生の学びはどのように実施しているのか。
回答⑤	こども園等で、言葉の壁を取り除く等の努力はしている。
質問⑥	市街化調整区域に関して、場所によって解除する等、市の方向性は。
回答⑥	土地利用について有効活用できるような方法を検討していくべく前向きに考えながら議論している。都市計画審議会においても要望している。
意見⑦	交通弱者について、運転手不足の問題の対応策は。タクシー会社へ委託するオンデマンドを活用しては。
回答⑦	意見としてお聞きしておく。市民との意見交換会などを活用をしていただき、移送ボランティアの現状など、議員と協議の場を持っていただく機会もある。
意見⑧	消防団員の手当について、ボランティア精神がないと団員増につながらないのでは。
回答⑧	ボランティア精神で頑張っていると思っている。地域を守るという意識を高めていくことは大事であり、貴重な意見として伺っておく。
質問⑨	公共交通について、利用が少ないのはなぜか。女性も含め、運転手を確保しやすい環境づくりが必要。

回答⑨	便数を増やすと運転手が足りない。少し不便でも安全という、利用者側の意識改革も必要。議会としても提案している。
意見⑩	自主運行バスは市内でまわっているのか。外出先の希望アンケートなどを取ればよいのでは。
回答⑩	地区でルートがある。公共交通網計画での現状があり、しばらく時間をいただきたい。アンケートは取っている。
意見⑪	ごみ収集について、滝野地区がみどり園から小野クリーンセンターに変わったのはなぜか。市内と市外で扱いが違う。不親切で困る。
回答⑪	ごみ処理に関しては、以前より三木市、小野市、加西市、加東市、西脇市、多可町5市1町で広域管理運営を目指していたが、現実には加東市と小野市、加西市での運営となった。社及び東条地域は以前より小野クリーンセンターであり、同センターとみどり園の2箇所が高額な運営費は出せないため一本化になった。
質問⑫	ごみ出しの市内外での扱いの違いは差別では。小野クリーンセンターへガラス付きの家具を持ち込んだときの小野市民と加東市民への対応が違っていた。
回答⑫	行政区で決まりがある。特別なことではない。